

行田らしいまち並みづくりと にぎわい創出基本計画（案）

平成26年2月

～ 目 次 ～

第1章 はじめに.....	1
1. 計画の背景と目的.....	1
2. 計画の位置づけ.....	1
3. 計画の策定体制.....	2
4. 計画の構成.....	3
第2章 前提条件の整理.....	4
1. 上位・関連計画の整理.....	4
(1) 第5次行田市総合振興計画.....	4
(2) 行田市都市計画マスタープラン.....	7
(3) 行田市景観計画.....	11
(4) 行田地域の足袋蔵等の保全・活用のための調査と提案報告書.....	13
2. 歴史的条件.....	14
(1) 古代の歴史.....	14
(2) 中世の歴史.....	14
(3) 近世の歴史.....	14
(4) 近代から現代.....	14
3. 社会的条件.....	15
(1) 人口・世帯の状況.....	15
(2) 少子・高齢化の状況.....	16
(3) 観光客の状況.....	16
第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題.....	17
1. 地域資源の特性.....	17
(1) 歴史・文化的資源の特性.....	17
(2) 自然資源の特性.....	20
(3) 生活・産業資源の特性.....	22
2. これまでの取組みの整理.....	24
(1) これまでの取組み・事業.....	24
(2) 市民主体のまちづくり活動.....	28
3. 市民意向に関する特性.....	29
(1) 行田市の景観まちづくりに関する市民アンケート調査の概要.....	29
(2) 各地域における重要な景観まちづくりの資源.....	30
(3) 行田らしい景観まちづくりの方向性.....	32
(4) 「歴史・文化」をテーマとした景観まちづくりの方向性.....	33

4. まち並みとにぎわいづくりの課題.....	34
(1) 地域資源の活用に関する課題.....	34
(2) まち並みづくりに関する課題.....	35
(3) にぎわいづくりに関する課題.....	35
第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針.....	36
1. 行田らしいまちづくりの基本理念.....	36
2. 行田らしさを活かしたまちづくりとは.....	37
(1) “行田らしさ” とは.....	37
(2) “行田らしさ” を活かしたまちづくりの方向性.....	38
3. 行田らしさを活かしたまちづくりの方針.....	39
(1) 「行田らしい」まち並みづくりの方針.....	39
(2) 「行田らしい」にぎわい創出の方針.....	39
4. 地域資源を核としたまちづくりの方針.....	40
(1) 秩父鉄道行田市駅周辺を核としたまちづくり方針.....	41
(2) 忍城址や水城公園などを核としたまちづくり方針.....	42
(3) JR 行田駅周辺を核としたまちづくり方針.....	43
(4) 埼玉古墳群や古代蓮の里などを核としたまちづくり方針.....	44
(5) 河川・水路や田園などを核としたまちづくり方針.....	45
5. 地域資源のつながりに関する方針.....	46
(1) 地域資源の連携方針.....	46
(2) まちづくり活動の連携方針.....	46
6. 行田らしいまちづくりの推進の考え方.....	47
第5章 モデル地区の概要.....	48
1. モデル地区の選定.....	48
(1) モデル地区選定の目的.....	48
(2) モデル地区の選定理由.....	48
2. モデル地区の概要.....	49
(1) モデル地区の概況.....	49
(2) モデル地区における市民意向.....	50
(3) モデル地区の課題.....	57

第6章 モデル地区の方針と具体的施策	58
1. モデル地区の展開.....	58
2. モデル地区の方針.....	60
(1) モデル地区の方針と目標.....	60
(2) 方針別の施策体系.....	62
3. 方針別の具体的施策.....	64
4. 施策展開の方針.....	74
(1) 施策の展開方向.....	74
(2) 軸の具体的施策.....	76
(3) 界わい・まちかどの具体的施策.....	84
第7章 事業推進に向けたプログラム.....	91
1. 施策・事業の実現化方策.....	91
(1) 実現化に向けた基本的な考え方.....	91
(2) 実現化の流れ.....	92
2. 段階的な取組内容.....	95
(1) 段階的な取組内容と優先度.....	95
(2) 段階的な取組例.....	106
3. 役割分担とスケジュール.....	109
4. PDCA による進行管理.....	113
参考資料：用語解説.....	117

■本文中で用いている語句などについて

- 「※」は、用語解説に掲載している語句を示しています。各ページの最初に出てくる語句にの「※」を付けています。
- 本計画における「市民」とは、本市に居住する「住民」とともに、本市もしくは特定の地域で活動する「事業者」や「団体」のことをいいます。

第1章 はじめに

1. 計画の背景と目的

本市では、平成11年3月に行田市景観形成計画を策定し、行田らしい景観の保全と形成に取り組んできました。

この間、社会環境などの変化により、市民ニーズ※は量的重視から質的重視へと価値観の変化や多様化が進んだことから、生活環境の質の向上がより一層求められており、景観まちづくりにおいても「行田らしさ」がこれまで以上に求められています。

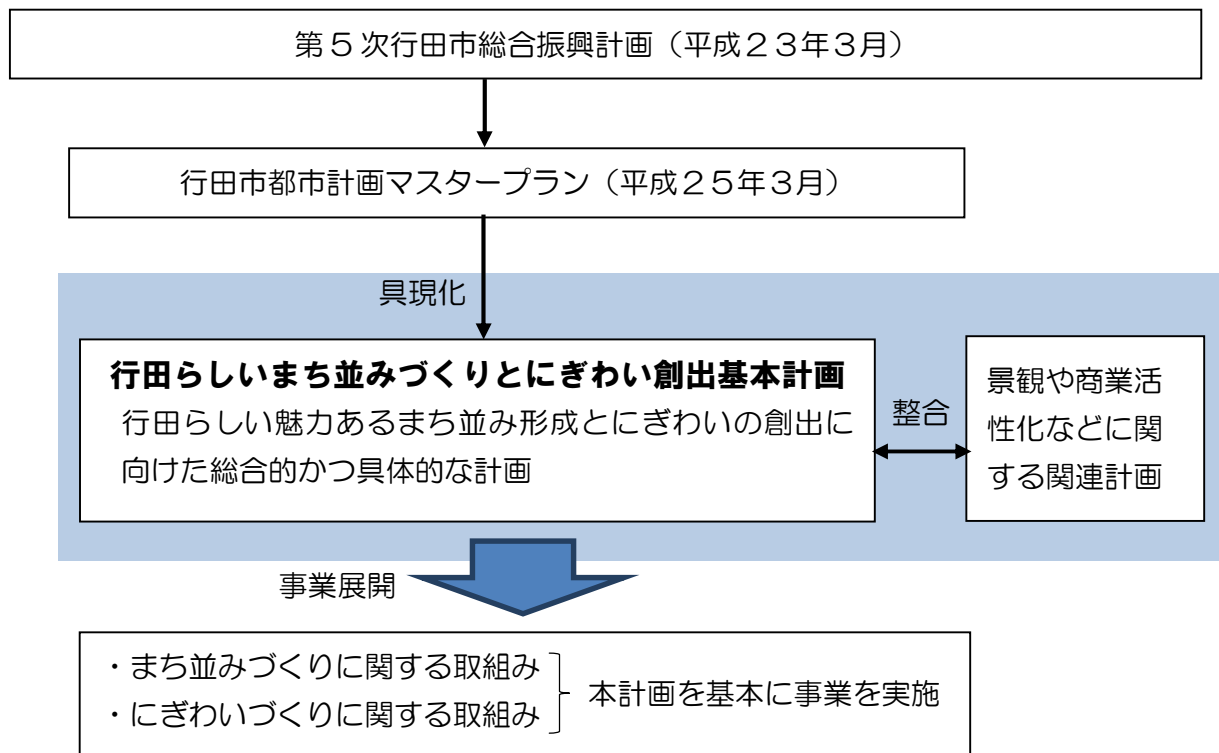
このような社会環境や市民ニーズの変化を受け、平成25年3月に策定した新たな都市計画マスタープラン※では、「水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ」を将来都市像とし、重点施策たるリーディングプロジェクトを位置づけ、各施策をスタートしています。

行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画は、関連する他の計画との整合を図りながら、行田市都市計画マスタープランをまち並みや景観的な観点から具現化するとともに、個性的で豊かなまちづくりの実現に向け、まちづくりの主体者の顔が見える計画を策定し、行田らしい魅力あるまち並みの形成とにぎわいの創出を図ることを目的とします。

2. 計画の位置づけ

上位計画及び関連計画との位置づけを下図に示します。

■計画の位置づけ

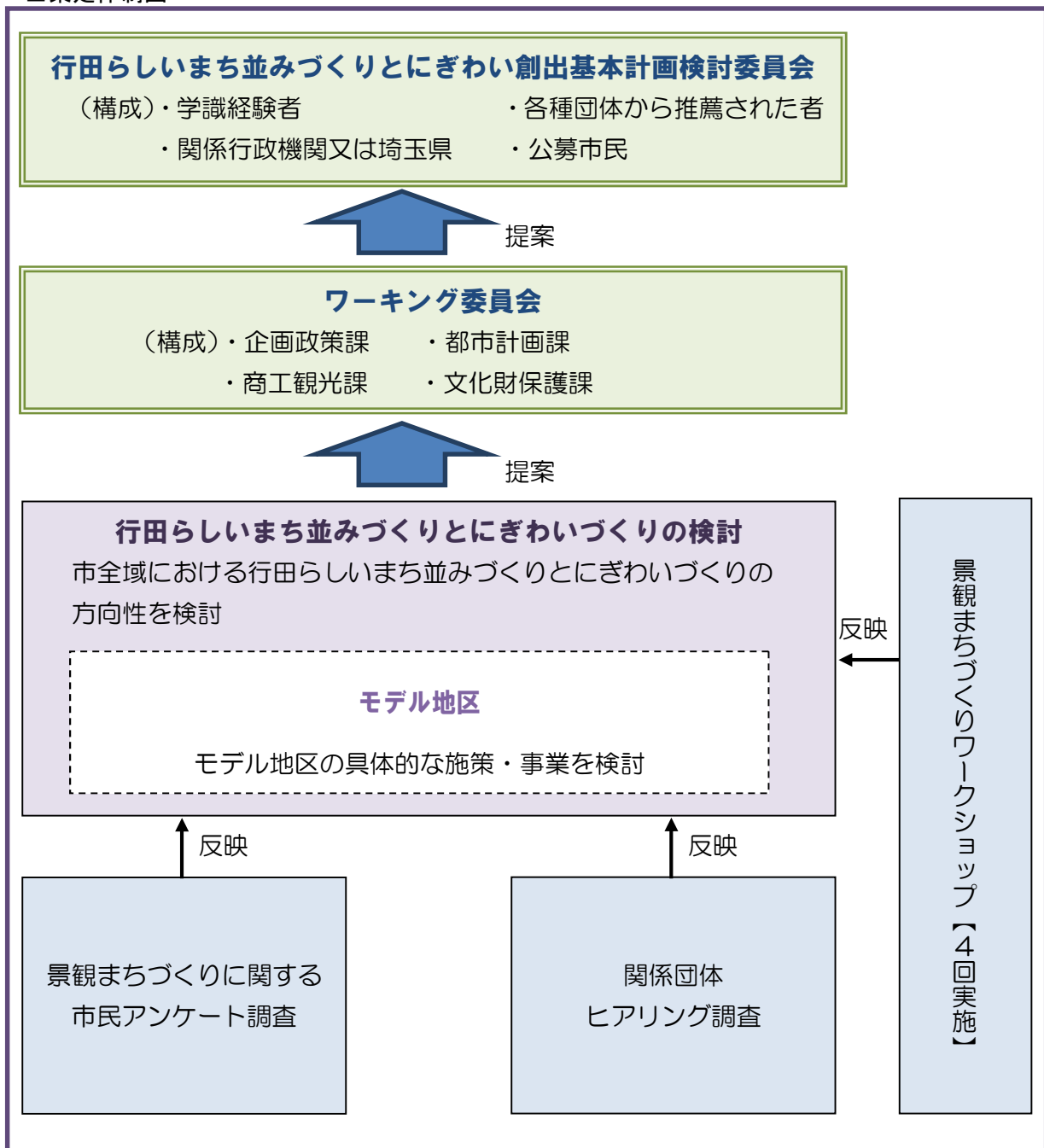


3. 計画の策定体制

計画策定にあたっては、学識経験者や公募市民で構成する「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画検討委員会（以下、検討委員会）」を最上位機関として検討を行いました。

また、市民意向を把握するため、市全域の検討にあたっては市民アンケート調査を実施するとともに、モデル地区においては、景観まちづくりワークショップを実施し、取組みの方針や具体的な施策・事業を検討しました。

■策定体制図



4. 計画の構成

第1章 はじめに（目的・位置づけ）

第2章 前提条件の整理（上位・関連計画の整理）

市全域における方向性

第3章 まち並みとにぎわいづくりの特性と課題

- | | |
|-------------|------------------|
| ○地域資源の特性 | ○これまでの取組みの整理 |
| ○市民意向に関する特性 | ○まち並みとにぎわいづくりの課題 |

第4章 まち並みとにぎわいづくりの方針

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ○行田らしいまちづくりの基本理念 | ○行田らしさを活かしたまちづくりとは |
| ○行田らしさを活かしたまちづくりの方針 | ○地域資源を核としたまちづくりの方針 |
| ○地域資源のつながりに関する方針 | ○行田らしいまちづくりの推進の考え |

モデル地区における方向性

第5章 モデル地区の概要

- | | |
|-----------|-----------|
| ○モデル地区の選定 | ○モデル地区の概要 |
|-----------|-----------|

第6章 モデル地区の方針と具体的施策

- | | |
|------------|-----------|
| ○モデル地区の展開 | ○モデル地区の方針 |
| ○方針別の具体的施策 | ○施策展開の方針 |

第7章 事業推進に向けたプログラム

- | | |
|--------------|-----------|
| ○施策・事業の実現化方策 | ○段階的な取組内容 |
| ○役割分担とスケジュール | |